

【穴水町】
校務DX計画

1 現状

「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリストの自己点検結果」（文部科学省 令和5年11月実施）を数値化した結果は、学校向け・学校設置者向けの平均点はともに全国平均は上回っているが、学校向けにおいて石川県全域の平均を下回る結果となっている。

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による結果「半分以上がデジタル化」の全国平均との比較は以下のとおりである。

校務DX項目		穴水町	全国平均
教員と保護者間の連絡のデジタル化	欠席・遅刻・早退連絡	33%	58%
	お便りの配信	0%	33%
	調査・アンケートの実施	100%	51%
学校内の連絡のデジタル化	校内での資料共有	67%	67%
	校内での情報共有	100%	72%
	調査・アンケートの実施	100%	58%
教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化	各種連絡事項の配信	0%	23%
	調査・アンケートの実施	67%	45%
その他	FAXの原則廃止	33%	4%
	押印・署名の原則廃止	0%	13%

デジタル庁ホームページ校務DXの取組に関するダッシュボードより （2024年2月時点の数値）

<https://www.digital.go.jp/resources/govdashboard/school-affairs-dx#guidance3>

都道府県：石川県、デジタル化状況：半分以上がデジタル化

「FAXの原則廃止」を行っている学校が少なく、「押印・署名の原則廃止」業務においてはデジタル化が全く進んでいない状況である。

2 今後

（１）教員と保護者間の連絡のデジタル化

ペーパーレス化や教職員の空き時間に配信できるというメリットを理解し、クラウドツールの活用を目指していく。

（２）教員と児童生徒間の連絡のデジタル化

クラウドツールの活用により、連絡のデジタル化を目指す。

（３）学校内の連絡のデジタル化

校務支援システムのグループウェア機能にて職員会議や日々の資料共有や連絡を行っている。デジタル化には学校差があるため、活用頻度の高い学校の事例などを紹介する教職員研修を企画し、格差解消を目指す。

（４）その他

FAXの使用や押印・署名については、原則廃止の方向で校務の効率化やペーパーレス化を進めていく。しかし、FAXについては必要な場面があることも承知しているため、関係各所が学校に対してFAX や不必要な押印を求めることのないよう働きかけを行う。

（５）校務DXの環境整備について

ゼロトラストセキュリティ等の考え方に基づき、「次世代校務DX」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務DXの在り方）を目指し、必要な環境整備について今後、各学校情報担当者とも連携しながら、検討を深める。